



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 東洋炭素株式会社

コード番号 5310 URL <https://www.toyotanso.co.jp>

代表者（役職名）代表取締役会長兼社長（氏名）近藤 尚孝

問合せ先責任者（役職名）財務経理部長（氏名）久野 正樹 TEL 050-3097-4950

半期報告書提出予定日 2024年8月8日 配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	26,284	10.8	5,808	26.0	6,994	31.0	5,156	24.9
2023年12月期中間期	23,712	16.8	4,610	51.7	5,338	44.1	4,128	61.0

（注）包括利益 2024年12月期中間期 7,519百万円（39.2%） 2023年12月期中間期 5,403百万円（7.6%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	245.89	-
2023年12月期中間期	196.85	-

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	104,204	89,736	86.1
2023年12月期	96,612	84,524	87.4

（参考）自己資本 2024年12月期中間期 89,678百万円 2023年12月期 84,470百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	-	0.00	-	110.00	110.00
2024年12月期	-	0.00	-	-	-
2024年12月期（予想）	-	-	-	120.00	120.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,000	9.6	10,900	17.4	10,500	3.1	7,600	1.2	362.38

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、【添付資料】8ページ「中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期中間期	20,992,588株	2023年12月期	20,992,588株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	20,217株	2023年12月期	20,167株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2024年12月期中間期	20,972,417株	2023年12月期中間期	20,972,490株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士または監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料および決算説明会内容の入手方法)

当社は、2024年8月20日に証券アナリストおよび機関投資家向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、同日TDnetにて開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
3. 補足情報	10
(1) 品目別の受注及び販売状況	10
(2) 概況	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における世界景気は、一部の地域において足踏みが見られたものの、持ち直しの動きが継続しました。しかしながら、欧米の景気動向や米中両国による輸出規制の影響が懸念される他、中東地域を巡り地政学リスクが高まる等、先行き不透明な状況は継続しました。

当企業グループを取り巻く事業環境は、エレクトロニクス分野では、SiC半導体用途の需要に支えられ順調に推移しました。また、モビリティ分野においては、自動車産業の底堅い稼働等を背景に堅調に推移し、一般産業分野においては、企業の底堅い設備投資等を背景に安定的に推移しました。

このような状況の中、当企業グループでは、中期経営計画における経営目標の達成に向け、技術革新に追随しうる高付加価値製品の増強・開発に取り組むとともに、生産性向上によるコスト競争力の向上を図る等、製造・販売・開発が一体となり高付加価値化を加速することで、高度化する顧客ニーズに応え、着実に事業機会を取り込んでまいりました。加えて、原燃料や人件費等のコスト高騰による影響を軽減するべく、価格転嫁等の採算性向上に向けた取り組みを進めてまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高26,284百万円(前年同期比10.8%増)となりました。利益については、為替の影響に加え、価格転嫁や販売構成差等の影響で限界利益が増加したこと等により、営業利益5,808百万円(同26.0%増)、経常利益6,994百万円(同31.0%増)、親会社株主に帰属する中間純利益5,156百万円(同24.9%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。(品目別の概況は「3. 補足情報」をご参照ください。)

日本

半導体用は主にSiC半導体向けの強い需要に支えられ前年同期を大きく上回った他、工業炉用や放電加工電極等が堅調に推移したこと等により、売上高14,143百万円(前年同期比14.9%増)、営業利益5,515百万円(同34.4%増)となりました。

米国

半導体用や連続鋳造用・工業炉用等の冶金用が好調であったこと等により、売上高2,524百万円(同22.0%増)、営業利益222百万円(同45.7%増)となりました。

欧州

主力の冶金用が好調に推移した他、半導体用が伸長し、カーボンブラシ製品も前年同期を上回ったこと等により、売上高2,764百万円(同13.9%増)、人件費等の影響により営業損失48百万円(前年同期は98百万円の営業利益)となりました。

アジア

カーボンブラシ製品の販売が家電向け小型モーター用を中心に緩やかに回復したものの、工業炉等の冶金用が低調に推移したこと等により、売上高6,851百万円(前年同期比0.8%減)となり、営業利益604百万円(同57.6%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ7,591百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が612百万円減少および有価証券が500百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が1,136百万円増加、棚卸資産が2,641百万円増加、有形固定資産が4,171百万円増加および関係会社出資金の増加等により投資その他の資産が460百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,379百万円増加いたしました。これは主に未払金が407百万円増加、未払法人税等が483百万円増加および前受金の増加等により流動負債のその他が1,094百万円増加したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ5,211百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が2,849百万円増加および為替換算調整勘定が2,304百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の連結業績予想につきましては、2024年2月14日発表の予想数値から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,132	14,519
受取手形及び売掛金	17,494	18,630
有価証券	2,999	2,499
商品及び製品	9,440	10,726
仕掛品	8,145	8,909
原材料及び貯蔵品	4,220	4,811
その他	726	766
貸倒引当金	△61	△45
流動資産合計	58,099	60,819
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,706	10,871
機械装置及び運搬具(純額)	11,087	11,442
土地	6,104	7,230
リース資産(純額)	1,148	1,798
建設仮勘定	3,104	4,877
その他(純額)	1,091	1,194
有形固定資産合計	33,243	37,415
無形固定資産	488	727
投資その他の資産	4,781	5,242
固定資産合計	38,513	43,384
資産合計	96,612	104,204

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,718	2,541
電子記録債務	831	904
未払金	2,523	2,931
未払法人税等	1,675	2,159
賞与引当金	772	701
役員賞与引当金	32	—
その他	2,557	3,651
流動負債合計	11,111	12,888
固定負債		
退職給付に係る負債	174	196
資産除去債務	278	635
その他	523	747
固定負債合計	976	1,579
負債合計	12,088	14,468
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,947	7,947
資本剰余金	9,609	9,609
利益剰余金	61,710	64,560
自己株式	△61	△61
株主資本合計	79,206	82,055
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	222	270
為替換算調整勘定	5,053	7,357
退職給付に係る調整累計額	△11	△5
その他の包括利益累計額合計	5,264	7,622
非支配株主持分	53	57
純資産合計	84,524	89,736
負債純資産合計	96,612	104,204

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
 (中間連結損益計算書)
 (中間連結会計期間)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	23,712	26,284
売上原価	15,124	16,073
売上総利益	8,588	10,210
販売費及び一般管理費	3,977	4,402
営業利益	4,610	5,808
営業外収益		
受取利息	44	42
受取配当金	9	10
為替差益	542	910
持分法による投資利益	109	169
その他	53	77
営業外収益合計	759	1,210
営業外費用		
支払利息	17	8
減価償却費	8	8
その他	5	6
営業外費用合計	31	23
経常利益	5,338	6,994
特別利益		
固定資産売却益	81	2
補助金収入	373	432
特別利益合計	455	435
特別損失		
固定資産売却損	0	1
固定資産除却損	73	74
特別損失合計	73	75
税金等調整前中間純利益	5,720	7,354
法人税等	1,591	2,197
中間純利益	4,128	5,157
非支配株主に帰属する中間純利益	0	0
親会社株主に帰属する中間純利益	4,128	5,156

(中間連結包括利益計算書)
(中間連結会計期間)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	4,128	5,157
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62	48
為替換算調整勘定	1,113	2,152
退職給付に係る調整額	42	5
持分法適用会社に対する持分相当額	55	155
その他の包括利益合計	1,274	2,362
中間包括利益	5,403	7,519
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	5,398	7,515
非支配株主に係る中間包括利益	4	4

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	5,720	7,354
減価償却費	1,644	1,799
持分法による投資損益(△は益)	△109	△169
退職給付に係る資産又は負債の増減額	14	△33
賞与引当金の増減額(△は減少)	△199	△98
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△113	△32
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	△21
受取利息及び受取配当金	△53	△52
支払利息	17	8
為替差損益(△は益)	△495	△841
固定資産売却損益(△は益)	△81	△0
固定資産除却損	73	74
売上債権の増減額(△は増加)	595	△328
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,962	△1,638
仕入債務の増減額(△は減少)	△568	△664
その他	△469	457
小計	4,007	5,811
利息及び配当金の受取額	67	71
利息の支払額	△20	△17
法人税等の支払額	△1,725	△1,653
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,329	4,210
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,606	△2,833
定期預金の払戻による収入	5,883	3,464
有形固定資産の取得による支出	△2,128	△3,348
有形固定資産の売却による収入	82	2
無形固定資産の取得による支出	△96	△327
その他	△72	△71
投資活動によるキャッシュ・フロー	60	△3,113
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△284	—
長期借入金の返済による支出	△9	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△95	△107
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,466	△2,304
非支配株主への配当金の支払額	△4	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,860	△2,413
現金及び現金同等物に係る換算差額	322	556
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	852	△758
現金及び現金同等物の期首残高	11,773	13,601
現金及び現金同等物の中間期末残高	12,626	12,843

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米国	欧州	アジア	計		
売上高							
一時点で移転される財	12,308	2,068	2,426	6,907	23,712	—	23,712
一定の期間にわたり移 転される財	—	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じ る収益	12,308	2,068	2,426	6,907	23,712	—	23,712
外部顧客への売上高	12,308	2,068	2,426	6,907	23,712	—	23,712
セグメント間の内部売 上高又は振替高	4,572	46	—	84	4,704	△4,704	—
計	16,881	2,115	2,426	6,992	28,416	△4,704	23,712
セグメント利益	4,105	152	98	383	4,740	△129	4,610

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去およびセグメント間未実現利益消去によるものです。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 地域に関する情報

(単位: 百万円)

	日本	北米	欧州	アジア		その他	計
					うち中国		
売上高	10,425	2,087	2,677	8,445	6,421	76	23,712
割合 (%)	44.0	8.8	11.3	35.6	27.1	0.3	100.0

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、地理的近接度により国または地域に分類しております。

2. 各区分に属する主な国または地域

(1) 北米………米国

(2) 欧州………フランス、ドイツ、イタリア

(3) アジア………中国、台湾、韓国

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米国	欧州	アジア	計		
売上高							
一時点で移転される財	14,143	2,524	2,764	6,851	26,284	—	26,284
一定の期間にわたり移 転される財	—	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じ る収益	14,143	2,524	2,764	6,851	26,284	—	26,284
外部顧客への売上高	14,143	2,524	2,764	6,851	26,284	—	26,284
セグメント間の内部売 上高又は振替高	4,721	60	29	84	4,896	△4,896	—
計	18,865	2,585	2,793	6,936	31,180	△4,896	26,284
セグメント利益又は 損失(△)	5,515	222	△48	604	6,294	△485	5,808

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主にセグメント間取引消去およびセグメント間未実現利益消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 地域に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	欧州	アジア		その他	計
					うち中国		
売上高	11,721	2,661	2,908	8,855	6,269	136	26,284
割合(%)	44.6	10.1	11.1	33.7	23.9	0.5	100.0

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、地理的近接度により国または地域に分類しております。

2. 各区分に属する主な国または地域

(1) 北米……米国

(2) 欧州……フランス、ドイツ、イタリア

(3) アジア……中国、台湾、韓国

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 品目別の受注及び販売状況

①受注金額

(単位：百万円)

品目	2023年12月期						2024年12月期		
	1Q	2Q	2Q累計	3Q	4Q	年度合計	1Q	2Q	2Q累計
特殊黒鉛製品	5,738	6,244	11,983	5,091	5,451	22,526	5,726	5,148	10,875
一般カーボン製品※2 (機械用カーボン分野)	1,064	965	2,030	997	808	3,837	958	1,106	2,065
一般カーボン製品 (電気用カーボン分野)	958	1,206	2,165	1,112	1,221	4,500	1,252	1,377	2,629
複合材その他製品	3,393	3,848	7,241	3,834	4,063	15,140	4,070	5,245	9,315
合計	11,155	12,266	23,421	11,036	11,545	46,003	12,008	12,877	24,885

(注) 1. 前四半期以前に外貨建てで受注したもので、当四半期中の為替相場の変動による差異については、当四半期受注金額に含めております。

※2. 2023年12月期の一般カーボン製品(機械用カーボン分野)には内示による受注を含めております。

②受注残高

(単位：百万円)

品目	2023年12月期				2024年12月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
特殊黒鉛製品	7,197	7,887	7,401	7,084	7,539	6,980
一般カーボン製品※2 (機械用カーボン分野)	1,053	1,025	1,016	804	928	994
一般カーボン製品 (電気用カーボン分野)	777	838	775	813	892	976
複合材その他製品	6,949	7,260	7,908	7,926	8,076	9,014
合計	15,978	17,011	17,102	16,628	17,437	17,966

(注) 1. 前四半期以前に外貨建てで受注したもので、当四半期中の為替相場の変動による差異については、当四半期受注残高に含めております。

※2. 2023年12月期の一般カーボン製品(機械用カーボン分野)には内示による受注を含めております。

③品目別販売実績

(単位：百万円)

品 目	2023年12月期						2024年12月期		
	1 Q	2 Q	2 Q累計	3 Q	4 Q	年度合計	1 Q	2 Q	2 Q累計
特殊黒鉛製品	5,648	6,048	11,697	6,133	6,221	24,052	5,899	6,284	12,184
【エレクトロニクス分野】	2,429	2,510	4,940	2,693	2,951	10,585	2,735	2,905	5,641
【一般産業分野】	2,588	2,797	5,386	2,816	2,640	10,843	2,625	2,775	5,400
【その他】	630	740	1,370	623	629	2,624	538	604	1,143
一般カーボン製品 (機械用カーボン分野)	993	1,023	2,017	1,036	1,062	4,116	865	1,089	1,954
一般カーボン製品 (電気用カーボン分野)	957	1,145	2,102	1,169	1,185	4,457	1,199	1,256	2,456
複合材その他製品	3,137	3,608	6,745	3,263	4,121	14,129	4,119	4,403	8,523
【主要3製品】	2,702	3,100	5,802	2,793	3,620	12,215	3,607	3,920	7,527
【その他製品】	435	507	942	469	501	1,913	512	483	995
商品	567	581	1,149	685	659	2,494	488	676	1,164
合 計	11,304	12,407	23,712	12,288	13,250	49,251	12,573	13,710	26,284

(2) 概況

特殊黒鉛製品

エレクトロニクス分野は、単結晶シリコン製造用が微減となったものの、SiC半導体向けの化合物半導体製造用が大きく伸ばしたこと等により、前年同期比14.2%増となりました。

一般産業分野は、連続製造用や工業炉用等の冶金用に加え、放電加工電極も堅調に推移したこと等により、前年同期比0.3%増となりました。

これらの結果、特殊黒鉛製品全体としては、前年同期比4.2%増となりました。

なお、受注高につきましては、大型受注剥落の影響等により、前年同期比9.2%減となりました。

一般カーボン製品

機械用カーボン分野は、前期に終了した特定案件の剥落があったものの、シールリングやパンタグラフ用すり板が好調に推移したこと等により、前年同期比3.1%減に留まりました。

電気用カーボン分野は、顧客の稼働が徐々に正常化する中、家電向け小型モーター用の販売が回復したこと等により、前年同期比16.8%増となりました。

これらの結果、一般カーボン製品全体としては、前年同期比7.1%増となりました。

複合材その他製品

SiCコーティング黒鉛製品は、SiC半導体向けが大幅に伸ばした他、シリコン半導体向けが底堅く推移したこと等により、前年同期を大きく上回りました。C/Cコンポジット製品は、工業炉用が堅調に推移したこと等により、前年同期を上回りました。黒鉛シート製品は、自動車用が堅調に推移したこと等により、前年同期を上回りました。

これらの結果、主要3製品は前年同期比29.7%増となり、複合材その他製品全体としては、前年同期比26.4%増となりました。